随意契約の相手方及び理由等（物品関係）

区　　分	内　　容　　等	備　　考
契 約 年 月 日	令和8年9月4日	
契 約 件 名	PFリング用ビーム軌道安定化システムの機能拡張　一式	
契 約 金 額	7，306，200円	
契 約 の 相 手 方	東京都品川区大崎１－１５－９ 三菱電機ディフェンス＆スペーステクノロジーズ株式会社	
問 合 せ 先	財務部契約課契約第三係 ℡ 029－864－5169	
随意契約の適用条項	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 契約事務取扱規則第32条第１項第１号	契約の性質又は目的が競争を許さないとき
契 約 の 概 要	本機構の放射光源加速器PFリングでは、ビーム位置モニターと同数のデジタル信号処理回路（BPM回路）を用いて蓄積ビームの閉軌道を測定し、その基準軌道からのずれを高速で補正し続けるビーム軌道安定化システムを導入している。ビーム軌道の安定度をさらに高めるためには、現在鉛直方向にのみ導入されているこの軌道フィードバックを水平方向にも導入することが必要である。また、高いビーム入射効率を維持し、蓄積電流の安定度をより高めるためには、既存のBPM回路を活用してリング内での入射ビームの運動や損失箇所をターンごとにリアルタイムで把握できるようにすることが必要である。 本件は、光源性能の安定化に資するこれらの項目を実現するための、現PFリング用ビーム軌道安定化システムの機能拡張に関するものである。	
随意契約の理由	機能拡張の対象となる現行システムは三菱電機ディフェンス＆スペーステクノロジーズ株式会社によって設計・製作されたものであり、設計から製作・改修に一貫して携わっている。 よって、同社は設計資料など詳細なデータを所持している唯一の企業であり、仕様・性能について細部に至るまで熟知している。 このため、本件を請け負うことができる者は三菱電機ディフェンス＆スペーステクノロジーズ株式会社以外にはなく、随意契約としたものである。	